

《 ホストファミリー・アンケート 》

今回のホームステイ引き受けは、お子様やご家庭にどんな影響を与えましたか。

- お互いがとても楽しい時を過ごせ、彼女の人生に楽しい思い出を作れた事嬉しく思っています。
- そんなに難しく構えなくても、言葉が通じない海外の人とコミュニケーションを取れる事に気付いたと思います。
- 私自身（母）は、シンガポールの事を知ることができ、楽しかったですが…。子供は、友だちが増えた感じぐらいでした。
- 私は、多少気を使いましたが、小学生の息子達は以外と自然でびっくりしました。英語の宿題も教えてもらったり、良い経験になりました。
- 日本について改めて見直すきっかけになった。
- 娘は、テスト、部活と忙しかったのですが、中1の息子はこのホームステイに最後まで反対だったのですが、一番変わったのは息子です。人と壁を作る性格ですが、フラットになれたような気がします。私と主人はとても良い経験になりました。
- シンガポールのお話を良くしてくれて、習慣の違いなど教えてもらい、異文化に興味を持ちました。
- 家族で協力しておもてなしを考えました。息子は少し海外に目を向けるようになった気がします。
- 久しぶりに英語が身近な生活をして、娘も良い刺激となった。
- 文化の違いを知るきっかけになった。英語に興味をもった。
国際交流の楽しさに気付いた。
- 国や言葉を超えるコミュニケーションの大切さを知り、お互い文化の違いはあるものの、同じ人間の一人、私たちと同じなんだ、という親近感を感じることができました。
- シンガポールに興味を持つきっかけになりました。家族は、勉強熱心な姿を見て刺激を受けました。
- 家族全員、受け入れた生徒からシンガポールでの日常生活について、日本と同じこと、違うこと、少なからず異文化交流が出来たと思います。子どもは、勉強面など刺激を受けたと思います。
- 英語を勉強する気持ちが多くなりました。シンガポールに興味がありました。
- シンガポールにもっと興味が出ました。三男は「シンガポール」という言葉を聞くと「ダーレンのここだよ」と言い、陸門と次男は「シンガポールへ行ってみたい」と言いました。私はもっと英語が話せるようになりたいと思いました。
- 知らない国の事を知れた。考え方の違いを知った。そういう違いがあっても共存していける事を知ったと思う。
- ものの考え方が少し変わった。
- 日本語で通じない事は英語を使うことがあり、日本語以外の言語に興味を持つことができた。
シンガポールを身近に感じることができ、視野が広がった。
- 国際交流への興味が更に深まった。子供は英語の勉強に熱心になった。生まれた国、育った国は違い、文化の違いもあるのだろうけど、お互いに興味を持ち歩み寄ることで、何の問題もなく一緒に生活できることがわかった。

最後に、ご意見・ご感想（引き受けて良かったこと・失敗したこと・大変だったこと）、次回引き受けるホストファミリーの方に伝えたいことなどがあればお書きください。

- ・アジアの女の子という事で文化的背景も共有でき、またおそらくは、選ばれている子達は、みんな良い子だと思うので、何の問題もありませんでした。貴重な機会をいただけて良かったです。
- ・娘と同級生だったこともあり、初めこそ同じ部屋にいてもお互いスマホを触り、会話もなかったりしましたが、娘の友人を呼んでたこ焼きパーティをしたり、外食したりする中で、次第に会話をするようになり、直ぐに日英交えてコミュニケーションを取っていた事には感心しました。
- ・今回、疲れが出たせいか、途中で体調不良になってしまい、私の判断で学校を休ませた事がありました。私は、学校へ行くと初めは言っていたのですが、無理をしないでと話したところ、学校を休んでくれました。貴重な1日ですが、やはり疲れている時は休ませた方が良いと思いました。
- ・自分たち家族だけで受け入れるというより、お友達やご近所の方も巻き込んで「皆で受け入れる」ために、事前に協力をお願いしました。おかげでウエルカムパーティーも沢山の友達に参加してくれて、翌日から学校へ行くのに交流ができた事は、本人にも私たち家族にとっても良かったです。
- ・男の子だったので、肌をあまり露出した服を着ないようにしたぐらいで、生活面に関しては、不便な事はありませんでした。逆に「私達でもこんな事が出来るんだね」と自信になりました。ありがとうございました。
- ・よく分からない事だらけでしたが、やってみて実に有意義な時間を過ごせました。まずは、「やってみよう」精神です。日本人は他者をなかなか受け入れない国民の様な気がします。もちろん私もそうです。でも、思い切ってやっちゃえです。新しいことを経験する事、知る事をやめないことです。その姿を子どもたちにも見せてあげたい。どう感じるかは知りませんが、自分が体験、経験から考えた事が、何より財産。知識だけでは、ダメです。親の生き様だと思います。ご両親が楽しむことです。
- ・中学の娘がテスト前だったので、塾などの予定が普段より詰まっていた、十分なお相手が出来なかった事が残念でした。その分、小学生の妹と過ごす時間が多く、習い事（書道体験や珠算）に同伴しました。
- ・初めてなので緊張しましたが、思ったより楽しく過ごすことができました。
- ・違う国、違う文化の人との交流ができるということは、とても良い経験になります。いろんな発見、自分自身を見直す機会にもなります。
- ・少しシャイな性格の子でしたので、気持ちを理解するまでに時間がかかったのかもしれませんが、こちらが心配するほど気にはしてはいなかったようにも思いました。（笑）
- ・娘が期間中、体調を崩し、1日学校を休むことになり、学校の先生やお友達にお世話になった。試験期間中のため、留学生との時間も大切にしたいのに、勉強もしなければ大変だった。少し時期を考えてもらいたい。その他は、シンガポール在住時代に疑問に思っていた事を聞いたり、お互いの国の話をして楽しく過ごせた。期間中誕生日だった為、お友達も呼んで、少しお祝い、そして皆で楽しく過ごす時間が有り良かった。
- ・初めは不安でしたが、2～3日経つと自分の子どもと同じように接すればいいと感じ、緊張感もなく過ごす事ができました。いろんな体験をさせてあげたくても、土日が1度しかなく、テスト期間中だったため、思うようにいかず…残念でした。子供は英語の勉強を覚えてもらえ、お姉ちゃんができ、姉妹のように話をしていました。毎日笑顔、笑い声が絶えない生活で楽しかったです。家に来た子は、何でも美味しいと食べてくれたので、大変な事は特になかったです。
- ・自分の娘が、学校でも家でもずっと一緒にいることに疲れてしまって、3日目頃から、無言でいる時

間が増えました。代わりに、親や妹や弟が話し相手となって過ごしました。迎え入れることをすごく楽しみにしていた娘でしたが、途中から無関心のような素振りだったのが残念です。妹や弟は、彼女が大好きでいつも側に居たがっていました。それが彼女にとって嬉しいことだと良いのですが、少し疲れたかな？と思います。「〇〇に行きたい！」「〇〇を食べたい」と希望を伝えてくれて、こちらも動きやすかったです。でも希望に沿えるよう少し無理することも多かったです。とても頑張り屋さんの彼女に見習う点がたくさんありました。

- 子どもがテスト前ということもあり、娘の希望で受け入れたものの、生活に余裕がない状況での受け入れでした。テスト期間でなければ、もっと一緒に過ごせる時間があったと思います。（シンガポールの生徒も気を使ってくれていた。）放課後、1日くらいクラスメイトを自宅に招いて一緒に夕飯の時間をもちたかったです。（シンガポール生徒がクラスメイトともかなり仲良くなっていたので。）
- ホームステイを引き受ける事は、とても大変な事だと思い、悩みに悩みました。不安もありました。フィルーは、とても日本語が上手だったし、優しくて本当に良い生徒でした。毎日、楽しく過ごせたとし、引き受けて本当に良かったです。一生の宝物になりました。こんな経験は二度とないかもしれません。やらないで後悔するより、やって後悔した方が良いという事も学べました。本当に本当にありがとうございました。
- 不安もたくさんありましたが、それよりもたくさんの経験をさせてもらえたことがとても良かったと思っています。頑張ってダーレンと連絡を取り続けていきたいです。意見としては一番初めの日を午前にして頂けるともう少し、ゆっくり説明とか中学の準備ができると思います。（土曜に浜松入り、1泊して日曜にマッチングはいかがでしょうか？）
今回このようなチャンスと出会いを頂きました事をとても感謝します。ありがとうございました。これからもこのプログラムが続いていってくれることを願います。
- とても気遣いのできる子で、でも自然体で生活してもらえていたように思いますが、逆にこちらの気の回し方が足りなかったかも、ともちょっぴり思います。「大丈夫」とよく言う子でしたので、ホントに大丈夫だったのか…とってしまいます。お互いに良い体験になっていれば良いのですが。
- 引き受けて良かったことは、外国の事が分かった。繋がりができた。
失敗した事は、あまり自由時間に一緒にいなかった。大変だったことはないです。
- ごみの分別について簡単に説明したが、乾電池が燃えるごみに入っていたため、英語の表記があるもので再度説明をした。
どんな遊びが好きなのか聞いても、好きなものが少なく、夕食後の過ごし方に少し苦労した。
子供たちがシンガポールや海外の事に興味を抱く良い機会になった。
- 最初は、15日間は長いと思っていたけど本当にあっという間で、お別れする時は本当に辛かったです。とても良い経験ができました。機会があれば、また引き受けたいと思うし、自分の子もいつかホームステイができればと思っています。紙面で感動、感謝があまり上手く伝えられませんが…。ありがとうございました。

《 シンガポール学生へのアンケート 》

ホームステイはどうでしたか？

- ・友達やホストファミリーはとても親切に私を受け入れてくれました。家では私を本当の娘のように学校ではずっといるクラスメイトのように接してくれました。私達と会う事皆にも刺激のあるものだという事がわかり心に残りました。
- ・家族のように接してくれて、ゲームをしたりおしゃべりしたりしてとても楽しかったです。ホストファミリーでの生活にとっても親近感を感じました。
- ・日本の生活を体験できて良かったです。接客（おもてなし）に感動しました。
- ・ホストファミリーはとても歓迎してくれて、優しく、娘のように接してくれました。学校に生徒が携帯を持って行ってはいけないことに驚きました。
- ・ホームステイはとても楽しかったです。ホストマザーの料理はとても美味しかったです。
- ・ホストファミリーと沢山話をしました。とてもよくお世話をしてくれました。
- ・とても楽しかったです。ホストファミリーと学校のおもてなしにとっても感謝しています。
- ・楽しいホームステイでした。日本の生活スタイルはとても理に適っていました。
- ・マッチングから私たちを歓迎してくれて、私たちの滞在を快適なものにしようとホストファミリーや学校みんなが大変心をかけてくれて、とても感動しました。
- ・家族の一員の様に感じました。とても楽しかったです。学校生活と食事時間が印象に残っています。
- ・とても楽しく有意義な時間を過ごす事ができました。
- ・家族はとても温かくて親切に接してくれました。
- ・日常生活も維持しながら、家族ではない私の事も大変良くお世話をしてくれたのが嬉しかったです。
- ・ホストファミリーと過ごす事は、とても心地よいものでありました。私はホストマザーが毎日家族のために朝早くから朝食を作るために早起きする事がとても心に残りました
- ・日本人はとてもきれい好きだと思いました。シンガポール人よりも日本人の方がよく食べるように感じました。また、部屋やトイレの鍵をかけないことに少し驚きました。
- ・日本で過ごす日々の生活やスクールバディやその友達と過ごす時間は、とても楽しく面白かったです。私を知らない事があると、ホストファミリーやクラスメイト、先生たちはとても親切に教えてくれて嬉しかったです。
- ・とても楽しかったです。日本人のおもてなしに感動しました。
- ・規律や努力に感動しました。とても楽しかったです
- ・とても楽しかったです。家族はとても良く理解してくれて、色々お話をしてくれました。
- ・竜ヶ岩洞、イオンモール、龍潭寺などに連れて行ってくれてとても面白かったです。会ってすぐから、とても歓迎してくれました。

《 ホストファミリーの感想 》

今回のホームステイ受入れは、色々勉強になったし、とても楽しかったです。ホテルで初めて会う前は「どうしよう」と不安だったけど、思い切って声をかけたら明るく返事をしてくれたのですごく嬉しかった。家族もすぐ打ち解けて話せてよかったです。(弟達は抱きついたり、肩車したりとやりたい放題でちょっと心配だった)ダーレンと家族と一緒に撮った写真は宝物です。僕が嬉しかったのは、ダーレンが日本食を食べてくれて喜んでくれるのがとても嬉しかったです。ソーメンやわらび餅を美味しいって言うてくれました。わらび餅は、小國神社に行ったときに食べたらしくて気に入ってしまい「お土産に買って帰りたい」と母に言ったそうですが、「賞味期限が短いから」と説明を受けてとても残念そうにしていたと母から聞きました。お土産は無理だけど日本にいる間はたくさん食べてほしいと母がわらび餅を食後によく出すようになりました(笑) 一緒に受けた授業も忘れられないほど楽しいものでした。(数学を教えてもらいました。とても分かりやすく説明してくれました) 僕は、6月9,10日と部活の合宿があり(サッカー部)ダーレンとは一緒にいれませんでした。けど、両親と弟たちがダーレンを連れて合宿に見学に来てくれた時はとても嬉しかったです。そして、ダーレンも参加してやったフットサルも楽しかったです。サッカーはあんまりって言うたのに実はとても上手くてシュートも1点決めた時は、自分のことのように嬉しかったです。(僕とダーレンは一緒にチームで優勝しました)

二週間はあっという間に過ぎてしまって「もっと時間がゆっくり流れるか、まだ居てくれればいいの」と思ったくらいです。まだまだたくさん話したいことや一緒に出掛けて見せてあげたいところもあったので残念でした。別れの日、みんなで写真をたくさん撮ったりして「あーこれで帰っちゃうんだ」と思ったら涙が止まらなくなりました。ダーレンとはこれからも連絡を続けて、いつかシンガポールにダーレンに会いに行きたいです。

初めての受け入れはとても緊張しました。シンガポールの事をあまり知らない私にとっては、良い体験になりました。シンガポールの留学生が家に来た時、どうやって接すればいいのか分からない私に、留学生の子は、気軽に話しかけてくれました。シンガポールの母国語は英語です。私は、授業で英語を習っていますが、ただ単語を並べたりしただけで、ペラペラしゃべることはできません。でも、留学生の子は、日本語をペラペラ話す事ができていたので、安心しました。留学生の子とは、2週間という長くて短いような日を共に過ごしました。夜は、テストが近かったため一緒に勉強しました。英語が分からない時は、留学生の子に教えてもらったり、ゲームや折り紙をしたりしました。また、休日は、久能山東照宮に行ったり、BBQを楽しんだりすることができました。けれど、文化の違いやマナーが違う部分があり、教えたりするのが大変でした。学校のルールも守らなければならないので、注意したりするのも大変でしたが、最後のお別れの時、留学生の子を受け入れて良かったと思いました。2人でバカ話をして沢山笑ったり、大泣きをしたり、怖い話をして驚いたり、国が違い離れた所に住んでいて、あまり会う事はできないけど、絆を深める事ができました。この2週間、とても楽しかったし、充実して過ごす事ができました。